

平成 1 1 年度試験研究成果

区分	普及	題名	平成 1 2 年度病害虫防除基準に採用した主な殺虫剤、殺菌剤		
【要約】 平成 1 2 年度の岩手県病害虫防除基準の改訂にともない、新規に採用した殺虫剤、殺菌剤、および変更事項の概要。					
キーワード	病害虫防除基準	殺虫剤、殺菌剤	改訂事項	生産環境部 病害虫研究室	

1. 背景とねらい

平成 1 2 年度の防除基準編成会議に提案して新たに掲載されることになった内容、新規採用薬剤、および主な変更事項を紹介し、病害虫防除対策の資とする。

2. 技術の内容

作物ごとの主な新規採用剤は以下のとおり。また、その使用法と留意点を表 1 に示した。

(1) 水 稲

イブコナゾール・銅水和剤(種子消毒)・・・ばか苗病他

メトミノストロピン粒剤・・・・・・・・・・いもち病

(2) 畑作物

ピフェントリン剤・・・・・・・・・・ホップのフキノメイガ

(3) 野 菜

アゾキシストロピン剤・・・・・・・・・・きゅうり病害、ねぎ黄斑病

クレソキシムメチル剤・・・・・・・・・・きゅうり病害

ピメトロジン剤・・・・・・・・・・きゅうり、トマトのアブラムシ類

スピノサド剤・・・・・・・・・・はくさい、キャベツのコナガ他

(4) 花 き

テフルベンズロン剤・・・・・・・・・・りんどうの lindou ホソハマキ

ハルフェンブロックスマイクロカプセル剤・・・りんどうのハダニ類

(5) 果 樹

アセキノシル剤・・・・・・・・・・りんごのハダニ類

3. 普及上の留意事項

表 1 に示した。

4. 技術の適応地域

県下全域

5. 当該事項に係る試験研究課題

[生産環境 - 4] - 2 - (5) 農薬の作用性・機能の解明と実用化

ア. 新農薬の効果検定と防除基準作成

6. 参考文献・資料

7. 試験成績の概要

表1 平成12年度病害虫防除基準に採用した主な農薬の使用法と使用上の留意点

農薬の種類 [農薬名] (成分量)	対 象		使 用 法	使 用 上 の 留 意 点
	作 物	病 害 虫		
イブコナゾール・銅水和剤 [テクリードCフロアブル] (イブコナゾール5.0%、水酸化第二銅4.6%)	水稲	ばか苗病 いもち病 ごま葉枯病 もみ枯細菌病 苗立枯細菌病	使用時期：浸種前 使用方法： 200倍液24時間浸漬	糸状菌と細菌による病害の同時防除が可能。ベノミル耐性ばか苗病にも効果がある。 低濃度液長時間浸漬法では銅による薬害の心配がない。
メトミノストロピン粒剤 [オリブライト1キログラム剤] (15.0%)	水稲	いもち病 (葉いもち)	使用時期：6月下旬 使用方法：1kg/10a	新規登録の1キログラム剤。労力軽減可能。
ピフェントリン剤 [テルスター水和剤] (2.0%)	ホップ	フキノメイガ	使用時期：生育中 使用方法：1,000倍	従来と別系統の防除剤で、ローテーション散布に有効。
アゾキシストロピン剤 [アミスター20フロアブル] (20.0%)	きゅうり	べと病 疫病 褐斑病	使用時期：生育中 使用方法：2,000倍	既存剤とは別系統の薬剤で、ローテーション使用に有効。 なお、低感受性うどんこ病菌が発見されたことから、うどんこ病への病害適用は削除。
クレソキシムメチル剤 [ストロビーフロアブル] (41.5%)			使用時期：生育中 使用方法：3,000倍	
ピメトロジン剤 [チェス水和剤] (25%) [チェス粒剤] (5.0%)	きゅうり トマト	アブラムシ類	使用時期・方法： 水和剤 3,000倍、生育中 粒剤 1g/株、育苗期後半	既存剤とは作用機作が異なるので、ローテーション使用に有効。
スピノサド剤 [スピノエース顆粒水和剤] (25.0%)	はくさい キャベツ	コナガ アオムシ	使用時期：生育中 使用方法：5,000倍	既存剤とは別系統のため、ローテーション使用に有効。特に薬剤抵抗性を獲得しやすいコナガに優れた防除効果がある。
アゾキシストロピン剤 [アミスター20フロアブル] (20.0%)	ねぎ	黄斑病	使用時期：生育中 使用方法：2,000倍	近年被害が増加している本病(病害名新設)に対して有効。
テフルベンズロン剤 [ノーモルト乳剤] (5.0%)	りんどう	リンドウホソ ハマキ	使用時期：生育中 使用方法：1,000倍	既存剤と別系統の剤で、ローテーション散布に有効。
ハルフェンプロックスマイクロカプセル剤 [アニバースMC] (5.0%)	りんどう	ハダニ類	使用時期：生育中 使用方法：1,000倍	既存剤と別系統の剤で、ローテーション散布に有効。他ピレスロイド剤との使用体系に注意。
アセキノシル剤 [カネマイトフロアブル] (15.0%)	りんご	ハダニ類	使用時期：生育中 使用方法：1,000倍	既存剤と別系統の剤で、ローテーション散布に有効。補完防除剤として採用。